

科学研究費補助金（学術創成研究費）事後評価結果

課題番号	16GS0312	研究期間	平成16年度～平成20年度
研究課題名	脳における運動制御のための情報処理機構の解明		
研究代表者名 (所属・職)	河野 憲二（京都大学・大学院医学研究科・教授）		

【平成22年度 事後評価結果】

該当欄		評価基準
	A+	期待以上の研究の進展があった
○	A	期待どおり研究が進展した
	B	期待したほどではなかったが、一応の進展があった
	C	十分な進展があったとは言い難い
(評価意見)		
<p>本研究は、視覚刺激に対する追従眼球運動の計算論的定量解析を駆使して、ヒト、サル及びマウスの脳における運動制御情報処理機構の特性を、深く掘り下げようというものである。主な研究目的である</p> <p>(1) 視覚－運動情報変換のゲイン調節の神経機構 (2) 視覚情報から運動情報への変換機構 (3) 霊長類とマウスとの視覚的眼球運動制御機構の差異</p> <p>の全ての項目において優れた研究成果が得られた。特に目的(2)に関して、視覚刺激から眼球運動を誘発する機構が、時空間的フィルター特性を有することを、サルとマウスにおいて解明し、さらに、ヒトにおける色覚情報が眼球運動に寄与することをも見出して、これを定量化するなど、重要な研究成果を挙げた。これらの研究成果は、脳科学のみならず情報工学への波及効果も期待され、本研究は学術創成研究費の研究課題としての目的を十分に達成して、期待どおり研究が進展したものと評価できる。</p>		